

(1) 日本の無償資金協力の範囲

- 1) 放送機器およびその据付・配線・復元調整
- 2) 局舎・鉄塔の建設
- 3) 放送機器および局舎・鉄塔などの資機材の日本からの輸送およびモンロビア港などから建設現場までの内陸輸送

(2) リベリア政府の負担事項

1) 新設送信所予定地に関する次の事項

敷地の確保

敷地および周辺の清掃・立木処理

整地

敷地への取付道路整備

商用電力線の引込み

給水・排水工事

2) 輸送

現地モンロビア港などにおける本計画に係る資機材の通関並びに免税手続など。

3) その他

施設の建設及び機材の据付に必要な経費で無償資金協力の範囲外のもの。

6-4 工程計画

支換公文締結後約21ヶ月を必要とする。工事工程表を表8に示す。

6-5 維持管理計画

(1) 要員計画

本プロジェクト完成後は、地方送信所の運用要員、テレビ番組制作要員の増員が必要である。しかし、現在LBSにおいてテレビ放送に直接関係している技術要員は10名程度で非常に少ない。機器の信頼度は向上しているが、常日頃からの運用保守を通じて技術力を養い、設備の障害時に緊急対応する必要がある。このため将来は無人工化されるとしても、当初は有人監視システムが望ましい。有人監視を実施する場合、現在の放送時間及び週休2日制度では最低3名、機器障害の対応や休暇を考慮すると4名が必要であり、地方3局では計12名の要員増が必要である。

番組制作時には現在技術担当者が加わっていないが、画質、音質を確保するためには技術要員の参加が必要であり、このための要員として3名、設備拡充に伴う保守強化のため3名、計

6名が必要である。

番組制作の要員としては、番組編成計画にもよるが、現在の放送時間の枠内での内容刷新、拡充をはかるために、スタジオ2室による制作を考慮する必要がある。このためカメラマン、音声担当、照明担当、スイッチャーなど計7名の増が必要である。

以上に述べたように、本プロジェクト完了後、新施設運用のためには技術要員18名、番組制作要員7名、計25名の増員が必要となる。

これら要員の確保は、LBSが国内唯一のテレビ事業者であるため自ら取り組む必要があり、新規の学校卒業者などから有能な新人を積極的に採用すると共にこれら新人の育成のためOJT（On the Job Training）をはじめとするシステム的な研修を行うことにより充分対応が可能である。

表 8 工事工程表

	-1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
交換公文		▽																					
実施設計		■																					
契約						□																	
モロピア スタツB																							
局舎 設備																							
同舎鉄塔 設備																							
バンガ 送信所																							
モロピア 送信所																							
局舎 設備																							
同舎鉄塔 設備																							
ブヤン 送信所																							
局舎 設備																							
同舎鉄塔 設備																							
ボニル 送信所																							
局舎 設備																							
同舎鉄塔 設備																							

□ 設計製作 ~ 輸送 ■ 現地作業

(2) 放送機器の保守体制

テレビジョン放送によるサービスを高品質で長期にわたり安定に維持するためには、機器の故障に対する対応が重要である。このためには定期保守、事前保守による故障の未然防止、予備部品の確保による修復時間の短縮化などを心掛けなければならない。

通常放送設備の保守のための経費としては、1年間に機器総額の1%程度を見込む必要があり、本プロジェクト完成後の運用のための不可欠な要件である。

現在LBSの技術部門内で実質的に保守に携っている人員は、5名程度で非常に少ない。しかしながら、前述のように本プロジェクト完成後の保守業務は、設備の拡充に伴い、かなり増大するので若干の増員が必要である。

また、本プロジェクトによる設備は、LBSの技術スタッフにとっては未経験のものが多く、プロジェクトの施工の段階でOJTなどを充分実施し、新しい設備に係る知識の習得、および技術の向上を計るべきである。

更に、技術スタッフ全体の技術レベル向上を計るため、プロジェクト完成後に専門家の派遣などによる協力が望ましい。

(3) 維持管理費

この計画の完成にともない、維持管理費は現在に比べて当然増加するが、LBSとしては、この予算を確保し着実に保守、運用を実施する必要がある。主要なものを以下に列記する。

これらの予算の確保についてはリベリア政府からの交付金のほか、LBS自身としても本プロジェクト完成により一般番組と共に、コマーシャル番組も向上することになり、この面での増収が予想される。また受信料制度の導入計画の早期実施が望まれる。

1) 人件費

人員増を25名、1人当りの人件費を200ドル/月とすると、年間で60,000ドルとなる。

2) 電力費

モンロビア送信所の増力、地方送信所の開局などによる電力費として年間、約75,000ドルを見込む必要がある。

モンロビア送信所	約20,000ドル/年
モンロビアスタジオ	約15,000ドル/年
バンガ送信所	約15,000ドル/年
ボミーヒルズ送信所	約15,000ドル/年
ブキャンナン送信所	約10,000ドル/年

(送信所は年間運用時間2,860時間、電力単価0.166ドル/kWH、として算出)

3) 設備保守費

TV設備の保守費は機器を完全に維持するために、建物関係を含め全設備費の約1%を見

込む必要がある。

4) 回線借用費(モンロビアーバンガ間)

テレビ中継回線の借用経費については未だ決っていないが、当然考慮しなければならない。

6-6 テレビ受信機の普及

本計画の完成により、3-2 テレビ放送網の拡充で述べたように、全人口の約45%に当る約100万人の人々がTV放送を受信できるようになる。これに伴いテレビ受信機も、現在3倍と大巾な増加が見込まれ、全国11万台以上になるものと推定される。リベリア側の調査によると地方の人々の85%がテレビ受信機の購入の意志を示しており、テレビ受信機の価格も一般市場で平均勤労者の収入でも購入できる機種があり、LBSでも市価より安い価格で供給をしている。このような状況のもとで本プロジェクト完成により、新たにテレビ放送区域内に取り込まれる人口80万人のうち、1%の人がTV受信機を購入するとすれば、8万台増となり現在の3万台余と合わせると11万台となる。

このように、本計画により放送網が拡大するとともにテレビ受信機も普及し、従来に比べて非常に沢山の人が、TV放送を試聴することができる様になり、所期の目的を達成できるものと思われる。

6-7 調達計画

本プロジェクトに必要な放送用機材については、全て日本で調達、搬入する。建築用資材については、市場調査の結果、現地調達可能なものはセメント・砂利・砂・木材等である。

鉄筋材については少量なら現地入手可能であるが、非常に高価でかつ品質の均一性に欠けるので日本から搬入することとする。

建物および空中線鉄塔用資材として、壁材、鉄骨、空調ダクト用薄板など原材料を日本から搬入し、現地で加工し、プロジェクトコストの低減を図る。

労務調達については、技術者及び特殊技術者を除き現地調達とする。

第 7 章 事業評価

第7章 事業評価

現在、我が国では、テレビ放送は生活の必需品となり即時性を生かし政治、経済は勿論のこと、生活情報の伝達にも重要な地位を占めているが、開発途上国におけるテレビ放送は同時性・広報・教育機関として人造り・国造りに大きな役割りを果たしている。

リベリアにおいては、本計画の完成により、現在モンロビア1局のみで、全人口の10%程度のカバーレージに過ぎないテレビ放送は一挙に約45%程度に拡大されることになり、約100万人の人々がテレビ放送を受信できる事になる。

また、本計画によるテレビスタジオ整備の完成により使用可能なテレビスタジオは2室となる。これにより番組制作に使用可能な時間は倍増し、入念な番組作りが可能となり、また番組制作機能も向上するので新しい制作技法を駆使した番組制作が行えるなど、番組の質の面での改善が期待される。

更に、スタジオ使用時間の増は、学校向放送、成人向教養番組など新規番組の開発への可能性を秘めており、放送時間拡充への大きな布石となるであろう。

本計画により、リベリア共和国にもたらされる具体的な効果は、次のようなものが考えられる。

1. 教育の振興

現在のLBSは国外からの調達番組を多く放送しているが、教育番組の面からみれば、自然科学の分野は調達番組によっても充分対応できるが人文・社会科学の分野は各国固有の面が多く自主制作を基本と考えなければならない。

今回のスタジオ整備によりこの分野での自主制作が可能となり、テレビ教育番組が充実し、視聴者のニーズにも充分対応できる様になるであろう。

また、現在LBSの番組では成人向けの教育番組が大きな比率を占めているが、将来は学校放送の計画があり、本プロジェクトによるスタジオ整備により充分対応できるものと思われる。

2. 地域格差の解消

現在テレビ放送はモンロビア周辺に限られているが、今回の放送地域の拡大により、特に情報伝達的手段に乏しく識字率も低い地方の人々に対しても、テレビ番組を通じて知的コミュニケーションの手段としての英語(公用語)の普及や、保健衛生知識の周知などその教育的効果が大きく期待できる。

多民族・多言語という状況は、国家統合のうえで大きな妨げとなることは、よく指摘されており、リベリア政府としては、教育によりこれの解決を志向している。リベリア国民に対する英語の普及は、国家政策の周知・部族間の意志疎通など、国家統一意識の国民への浸透に大きく貢献することと思われる。

またリベリア国においては衛生環境の不備や母子衛生知識の不足などにより乳児死亡数が出生1,000人に対し150人と極めて高く、日本に比べると20倍にも達している。印刷物などによる活動は識字率の低いことから限界があり、直接視覚に訴えるというテレビの特質を生かした教育は大いに効果があるものと思われる。

3. 農業技術の向上

リベリアでは伝統的な焼畑農法が、広く行なわれているが、気温・降水量や河川に恵まれているので、農業技術の普及向上により国家目標である米をはじめとする食糧の増産計画を推進することが出来る。

このため眼でみるメディアとしてのテレビの特性を生かした適時の農業指導（栽培時期・収穫作業・害虫対策など）や迅速な農業情報（新しい耕作法や新品種紹介など）により容易に増産計画を達成することが出来、同国の農業の発展に大きく寄与するものと思われる。

第 8 章 結論・提言

第 8 章 結論・提言

8-1 結 論

本計画はリベリアの教育、保健衛生、社会経済などの向上のため、テレビ放送の拡充を図るべく計画されたものであるが、社会的意義、計画の妥当性および効果等について詳細に評価した結果、同国の発展に本プロジェクトは非常に効果的である。

特にリベリアは都市と地方との間で教育や、インフラストラクチャーなどの格差が大きく、この地域格差是正の面で本プロジェクトの果たす役割は極めて大きく、国家目標である教育の振興にも大きく役立つものと考えられる。

このような現状から我が国が無償資金協力によりこのプロジェクトを実施することは妥当であると結論できる。

8-2 提 言

本計画の効果を発揮するため、リベリア国側関係機関に次の様な配慮を要望する。

(1) 運用段階においてLBSの予算の増強、要員増を図ること。

現在LBSは政府の交付金の遅配などにより運営は苦しいが、より一層受信機の普及に努めると共に、目下検討中の受信料制度の早期導入などにより基本収入の確保をはかる事が必要である。

また、要員の確保のため有能な人材の採用と新人に対するシステムの研修を行う必要がある。

(2) 設備機器に対する保全体制を確立すること。

設備機器の機能を維持し、良質放送を安定的に継続するためには、適正な保全経費と要員を確保するとともに機器保守のための基準を制定する必要がある。

(3) 要員の育成に努めること。

要員の訓練については、LBSは積極的に海外訓練機関に要員を派遣し、広く新知識の吸収に努めているが、この成果を単に個人の蓄積とせず、これらの人々を中心に部内研修会を行ない、全員のレベルアップを計る必要がある。

また日本国に対しても、テレビ放送専門家の派遣や、日本での研修参加について関係各機関に要請することが望ましい。

(4) 本計画により第1次放送網計画は完成するが、第2段階として残りの地域のテレビの置局および番組の充実に必要なスタジオA設備の改善を早期に実施することが望ましい。

資 料

I 現地調査団の構成及び日程

調査団員氏名(担当)	所 属 等
武 内 新 一(団 長)	郵政省通信政策局国際協力課 国際協力調査官
鈴 木 達 男(業務調整)	国際協力事業団無償資金協力部 基本設計課
佐 藤 敏 夫(総 括 放送技術)	全日本テレビサービス株式会社 海外事業本部
豊 田 暹(放送技術)	全日本テレビサービス株式会社 海外事業本部
浅 野 昭 寿(鉄塔・局舎)	全日本テレビサービス株式会社 建築事業部

481-7611(15)
→ 本調査団

現地調査日程

昭和60年1月13日～2月18日までの37日間

月／日（曜日）	調査場所・調査内容等
1／13（日）	成田発
14（月）	ロンドン着
15（火）	モンロビア着
16（水）	日本大使館，外務省，LBS，情報大臣，LTC表敬
17（木）	LBSにて，Grant Inception Report，の説明 スタジオ，送信所調査
18（金）	電力公社，LTCで調査打合，建設物価調査
19（土）	現地図面による送信候補地の検討
20（日）	測定機器の整備
21（月）	ボミーヒルズ調査
22（火）	”
23（水）	ブキャナン事前調査（3候補地を選定）
24（木）	バンガ調査打合，建設候補地の検討
25（金）	バンガ事前調査（5候補地を選定）
26（土）	モンロビアでLTC調査 建設事情調査
27（日）	バンガ調査（候補地の電測，LTCで打合）
28（月）	” （候補地の測量）
29（火）	” （予定放送区域内調査）
30（水）	LBSにて電力系統およびスタジオ調査
31（木）	LBSにて放送制作担当者と打合，受電系統調査
2／1（金）	LBSにて電力室関係調査，設備保全，スタジオ設備打ち合せ
2（土）	LBSにて番組制作状況調査，番組送出状況調査 空調設備調査
3（日）	調査結果の検討
4（月）	LBSスタジオ改善調査，打合，団長，鈴木団員到着
5（火）	団長，鈴木団員大使館，外務省，LBS表敬，建設事情調査
6（水）	バンガ地盤調査ブキャナン調査準備
7（木）	ブキャナン調査（候補地の電測）
8（金）	” （候補地の測量，電力および受信状況調査）
9（土）	” （予定放送区域内調査）
	ボミーヒルズ地盤調査

月／日（曜日）

調査場所・調査内容等

2／10（日）	LBS放送機，空中線状況調査
11（月）	団内打合
12（火）	LBSとプロジェクト内容確認，打合。妨害波調査
13（水）	LBSとミニッツ案について打合。スタジオ図面作成
14（木）	ミニッツ交換，大使館報告
15（金）	リベリア発
16（土）	ロンドン着
17（日）	ロンドン発
18（月）	成田着

II 現地調査 Minutes of Discussions
on
Educational Television Broadcasting Project
In
the Republic of Liberia

In response to the request by the Government of the Republic of Liberia, the Government of Japan decided to conduct a basic design study on the Educational Television Broadcasting Project (hereinafter referred to as "the Project") and the Japan International Cooperation Agency, an official agency responsible for the implementation of technical cooperation programme of the Government of Japan, despatched a study team (hereinafter referred to as "the Team") headed by Mr. Shinichi Takeuchi, Special Advisor for International cooperation, Communication Policy Bureau, Ministry of Posts & Telecommunications, from January 13, to February 18, 1985.

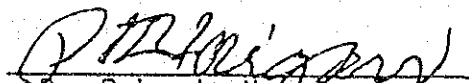
The Team conducted a field survey, held discussions and exchanged views with the officials concerned of the Government of Liberia.

As a result of the survey and discussions, both sides have agreed to recommend to their respective Governments to examine the result of the study attached herewith towards the realization of the Project.

Monrovia, February 14, 1985

武内 新一

Shinichi Takeuchi
Team Leader
Japanese Study Team



Dr. Peter L. Nalbow
Director-General
Liberia Broadcasting System

Minutes

1. The objective of the Project is to provide facilities and equipment for the establishment of television broadcasting networks in order to promote educational and cultural activities.
2. The Liberia Broadcasting System is responsible for the implementation of the Project on the Liberian side.
3. The Team will convey to the Government of Japan the intention of the Government of Liberia that the former takes the necessary measures to cooperate in implementing the Project and providing the facilities and equipment listed in Annex I within the scope of the Japanese economic cooperation programme in grant form.
4. The Government of Liberia will take the necessary measures listed in Annex II on condition that the grant assistance by the Government of Japan is extended to the Project.
5. Liberian side understood the Japanese grant aid system explained by the Team which includes a principle of use of Japanese firms for the implementation of the Project.

1. Upgrading of transmitting facilities of Monrovia TV station

- Transmitter
- House for transmitter
- Transmitting antenna
- Programme link
- Engine generator, etc

2. Construction of transmitting stations

According to priority, construction sites are as follows:

(1) Gbarnga

- Transmitter
- House for transmitter
- Transmitting antenna with mast
- Programme link
- Engine generator, etc

(2) Buchanan

- Transmitter
- House for transmitter
- Transmitting antenna with mast
- Off air receiver
- Engine generator, etc

(3) Bomi Hills

Same as (2) Buchanan

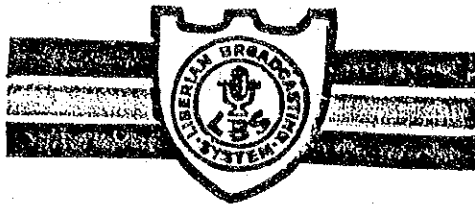
3. Improvement of TV studios

- Video production equipment
 - Audio production equipment
-

-
- Monitoring equipment
 - Colour camera
 - Lighting equipment
 - 3/4 inch U-matic VTR
 - Telecine chain
 - Air conditioning facilities
 - Other necessary facilities
-

-
1. To secure the lands necessary for each transmitting stations.
 2. To carry out such preparation before commencement of construction works in each transmitting site as follows:
 - 1) clearance
 - 2) leveling
 - 3) access road
 - 4) electric power line (both for temporary and ordinary use)
 - 5) water supply and drainage
 3. To confirm the location of the equipment to be installed at Liberia Telecommunications Corporation for the programme link.
 4. To ensure prompt unloading, tax exemption, customs clearance at the ports of disembarkation in Liberia and prompt internal transportation of the products purchased under the grant.
 5. To exempt the Japanese nationals concerned from custom duties, internal taxes and other fiscal levies imposed in Liberia with respect to the supply of the products and services for the Project.
 6. To provide necessary permissions, licences and other authorizations for carrying out the Project.
 7. To bear all expenses other than those to be borne by the Grant, necessary for the execution of the Project.
-

8. To maintain and use properly and effectively the facilities and equipment purchased under the grant.
9. To send the following data to the Japan International Cooperation Agency through the Embassy of Japan by the end of February.
 - (1) Data of soil survey at Bomi Hills
 - (2) Data of calculation of strength of the mast at Monrovia
 - (3) Map of electricity distribution



THE LIBERIAN BROADCASTING SYSTEM

OFFICE OF THE DIRECTOR GENERAL

Ref. LBS/DG/0027/85

February 5, 1985

Mr. Shinichi Takeuchi
Special Advisor
International Cooperation Communications Bureau
Ministry of Posts & Telecommunications
JAPAN

Dear Mr. Takeuchi:

Chief Engineers from the International Division of the All Japan Radio and Television Engineering Services arrived in Liberia on January 15, 1985 to begin the basic design study of the Liberia Broadcasting System's Educational Television Project. The team has already travelled to Bomi Hills and Gbarnga and will shortly leave for Buchanan. We are very pleased of the progress being made so far.

With respect to the upgrading of the facilities at Paynesville, we are writing to request the following additional equipment as a priority from your Government:


- a) Rehabilitation of the TV Studios including *A & B*
new cameras
- b) Two Telecine
- c) Two ENG Camera Recorder Units
- d) One OB Van
- e) One Standards TV Converter
- f) U-Matic Editing Facilities
- g) Additional Complete Studios

STATIONS ELBS & ELTV P. O. BOX 594 MONROVIA, LIBERIA-CABLES: BROADCASTS
TELEPHONE: 271146 - 271250 - 271425

It is our fervent hope that your Government will highly consider this list as part of our desire to expand television services throughout our nation to teach basic illiteracy and hygienic skills to the rural people who make up 70 percent of our population.

Kindest regards,

Sincerely yours,


Peter L. Naigow
DIRECTOR GENERAL

IV ドラフトファイナルレポート現地説明チームの構成及び日程

現地説明チーム氏名

所 属 等

佐々木 直 義 (団長)

国際協力事業団無償資金協力部

基本設計調査第二課

佐 藤 敏 夫

全日本テレビサービス株式会社

海外事業本部

現地説明の日程

昭和60年5月22日～6月3日までの13日間

月 / 日 (曜日)	内 容
5 / 22 (水)	成田発
23 (木)	ブリュッセル着
24 (金)	モンロビア着
25 (土)	LBSにドラフトレポートを提出
26 (日)	現地説明打合及びLBS見学
27 (月)	日本大使館で報告およびLBSにドラフト説明
28 (火)	LBSと詳細説明打合
29 (水)	LBSと質疑応答
30 (木)	LBSとミニッツ案について打合
31 (金)	ミニッツ交換および大使館報告
6 / 1 (土)	モンロビア発
2 (日)	ロンドン発
3 (月)	成田着

V ドラフト説明 MINUTES OF DISCUSSIONS

THE DRAFT REPORT OF THE BASIC DESIGN STUDY ON
EDUCATIONAL TELEVISION BROADCASTING PROJECT
IN THE REPUBLIC OF LIBERIA

At the request of the Government of the Republic of Liberia for grant aid for an Educational Television Broadcasting Project, the Government of Japan decided to conduct a Basic Design Study on the Educational Television Broadcasting Project (hereinafter referred to as "The Project"). Japan International Cooperation Agency (J.I.C.A.) despatched a study team (hereinafter referred to as "The Team") headed by Mr. Shinichi Takeuchi, Special Advisor for International Cooperation, Communication Policy Bureau, Ministry of Posts & Telecommunications, from January 13 to February 18, 1985.

The Mission carried out a field survey and had a series of discussions with the authorities concerned of the Government of the Republic of Liberia.

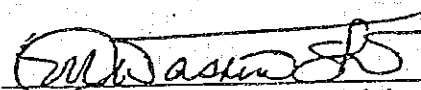
As a result of these survey and discussions, JICA prepared and submitted a Final Draft Report on the Study and despatched a Mission to explain and discuss this Report starting from May 22 to June 3, 1985.

Both parties had a series of discussions on the Report and have agreed to recommend to their respective Governments that the major points of understanding reached between them, attached herewith, should be examined towards the realization of the Project.

Monrovia, May 31, 1985

佐口木直義

Mr. Naoyoshi Sasaki
LEADER OF THE MISSION/JICA.



Mr. G. Moses K. Washington
DIRECTOR-GENERAL
LIBERIA BROADCASTING SYSTEM

Attached Sheet:

Major Points of Understanding

1. The Liberian side has principally agreed to the basic design proposed in the Draft Final Report.
2. The Final Report (10 copies in English) on the Project will be submitted to the Liberian side by the middle of July, 1985.
3. The Liberian side understood the system of Japan's Grant Aid Programme and the arrangement to be taken by the Liberian side for realization of the Project.
4. Those points proposed by the Japanese side in Annex 1 - 3 have been confirmed by the Liberian side.

With the Project, LBS should show the following improvement in its TV production and transmission timetable. (Weekdays)

	At Present		With the Project	
	Studio "A"	Studio "B"	Studio "A"	Studio "B"
Program Production Hours	1 hr.	-	2.5 hrs.	2.5 hrs.
Possible Production Time	10:00 - 17:00 (7 hrs.)	-	10:00 - 22:00 (12 hrs.)	10:00 - 17:00 (7 hrs.)
Transmitting Time (Daily)	18:00 - 24:00 (6 hrs.)	-	-	18:00 - 24:00 (6 hrs.)
Number of Programs Productions (Daily)	4 (actual)	-	5	3
Total Program Productions (Daily)	4		8	

NOTE: With the rehabilitation and completion of Studio "B", there should be an increased per centage of local productions as well as an improvement in the quality of production. Transmission hours should also be expanded because of the availability of adequate studio facilities.

In order to examine LBS financial situation, in view of the Project, LBS expenditure and revenue calculation can be done as follows:

Present Annual Operational & Maintenance costs	\$1,347,043
<u>Future Additional Annual Operational Costs (with the Project)</u>	
Personnel Expenses	60,000
Power Expenses	75,000
Maintenance Costs/Spare Parts	<u>60,000</u>
Sub Total	<u><u>\$1,542,043</u></u>
<u>Revenue</u>	
Government Subsidy	\$ 880,000
Advertising	1,760,000
*Receiver Fee 2,400,000 X $\frac{1}{2}$	<u>1,200,000</u>
Sub Total	<u><u>\$3,840,000</u></u>
Net Benefit	<u><u>\$2,297,957</u></u>

*Assuming objected population 1 million & TV sets one for every ten persons, 100,000 TV sets will be distributed. Also note that the Receiver's fee is \$2.00 X 1,000,000 X $\frac{1}{2}$, given 50% successful collection.

PRESENT EMPLOYMENT AND STAFF
INCREASE, WITH THE PROJECT.

	<u>PRESENT</u>	<u>FUTURE (THE PROJECT)</u>
PRODUCTION	60	67
NEWS	27	27
ENGINEERING	34	52
OTHERS	53	63
 TOTAL	 184	 209 (+25)

NOTE: This figure suggests a slight increase in engineering and production staff due to the high quality of production to be expected, as the result of an increased number of studios and increased percentage of available facilities.

VI 調査機関の面談者リスト

Ministry of Information

Mr. Carlton Alexwyn Karpeh Minister

LTC (Liberia Telecommunications Corp.)

Mr. Charles B. Roberts, Jr. Managing Director

Mr. Pele Paelay Planning and Development
Engineer/Manager

LEC (Liberia Electricity Corp.)

Mr. Andrew K. Dean Assist. Manager, Transmission &
Distribution Department

Mr. Roosevelt K. Logan, I Manager, Transmission & Distribution

Mr. Joseph T. Mayor Deputy Managing Director/Operations

LBS-HEAD OFFICE

Dr. Peter L. Naigow Director General

Mr. J. Eustace Smith Deputy Dir. Gen./Broadcasting

Miss. Wessa Dennis Deputy Dir. Gen./Administration

Mr. Sam Bonah Assist. Dir. Gen./Television

Dr. Jerome Boikai Assist. Dir. Gen./Planning,
Research, Development

Mr. Moses K. Washington Assist. Dir. Gen./Special Assist.

Mr. Issac Wesley Chief Engineer

Mr. Peter Amos George, Jr. Senior Coordinator/Planning,
Research, Development

Miss. Victoria Reffell Director of Programming and
Production

Mr. Joseph A. Davies Controller

Mrs. Ayodelle T. Weah Director of News & Public Affairs

Ministry of Public Works

Mr. James A Tay

Physical Planning Division
Coordinator

Mr. Samuel L. Sarwah

Chief of Soils Division

Milton & Richards, Inc.

Mr. Aaron B. Milton

Mouchantaf Construction & Maintenance Corp.

Mr. J. S. Habib

VII 収集資料リスト

1. Republic of Liberia Planning and Development Atlas
1983 Monrovia
2. Liberia Geographical Mosaics of The Land and the people
Ministry of Information, Cultural Affairs & Tourism
1979 Monrovia
3. Economic Survey of Liberia
Ministry of planning & Economic Affairs
1983 Monrovia
4. Second National Social Economic Development Plan
Ministry of planning & Economic Affairs
1981 - 1985 Monrovia
5. Maps, Scale 1:50,000 32 sheet
6. Maps, Scale 1:250,000 12 sheet

JICA